

平成30年度

武雄河川事務所予算概要

記者発表資料

平成30年4月

国土交通省九州地方整備局
武雄河川事務所

【問い合わせ先】

武雄河川事務所 TEL) 0954-23-5151(代)

技術副所長	ま と ば 的 場	た か ふ み 孝 文	(内線204)
-------	--------------	----------------	---------

技術副所長	た な か 田 中	み つ あ き 満 昭	(内線205)
-------	--------------	----------------	---------

工務課長	か し わ ぎ 柏 木	ひ ろ し 弘 志	(内線311)
------	----------------	--------------	---------

武雄河川事務所HP <http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/>

武雄河川事務所 平成30年度の事業費

1. 全体事業概要

国土交通省武雄河川事務所は、佐賀県内の一級河川のうち嘉瀬川、六角川、松浦川の整備・管理、及び嘉瀬川ダム、厳木ダム、佐賀導水の管理、城原川ダムの建設事業等を担当しています。

これらの河川は、社会生活を潤し自然を育んでいますが、時には災害を引き起こし大変な脅威となることがあります。

武雄河川事務所では、災害から住民の皆様の生活と地域の経済活動を守るために、自然環境に配慮しつつ河川の整備を行っています。

2. 平成30年度予算

(単位：百万円)

予算区分・費目		① 平成30年度 当初予算	② 平成29年度 当初予算	[①/②] 対前年度比
嘉瀬川	一般河川改修事業費	275	250	110%
	工作物関連応急対策事業費	0	40	0%
	総合水系環境整備事業費	1	1	100%
	河川維持修繕事業費	325	383	85%
	堰堤維持費（嘉瀬川ダム）	385	379	101%
	計	986	1,053	94%
六角川	一般河川改修事業費	500	568	88%
	工作物関連応急対策事業費	80	202	40%
	河川維持修繕事業費	752	750	100%
	計	1,332	1,520	88%
松浦川	一般河川改修事業費	220	229	96%
	工作物関連応急対策事業費	12	14	86%
	総合水系環境整備事業費	128	124	103%
	河川維持修繕事業費	549	480	114%
	堰堤維持費（厳木ダム）	372	320	116%
	計	1,281	1,167	110%
筑後川	河川総合開発事業費（城原川ダム）	428	341	125%
	堰堤維持費（佐賀導水）	659	733	90%
	計	1,088	1,074	101%
合計	一般河川改修事業費	995	1,047	95%
	工作物関連応急対策事業費	92	256	36%
	総合水系環境整備事業費	129	125	103%
	河川総合開発事業費	428	341	125%
	河川維持修繕事業費	1,626	1,613	101%
	堰堤維持費	1,416	1,432	99%
	計	4,686	4,814	97%

※本表は、工事諸費を除いている

かせがわ かせがわ とくまちく
嘉瀬川水系嘉瀬川 徳万地区 河川改修事業
～ 堤防整備による治水安全度の向上 ～

事業の目的

嘉瀬川下流部の佐賀市徳万地区は、所定の堤防断面（幅）が確保できておらず洪水時には堤防決壊の可能性が高い地区です。

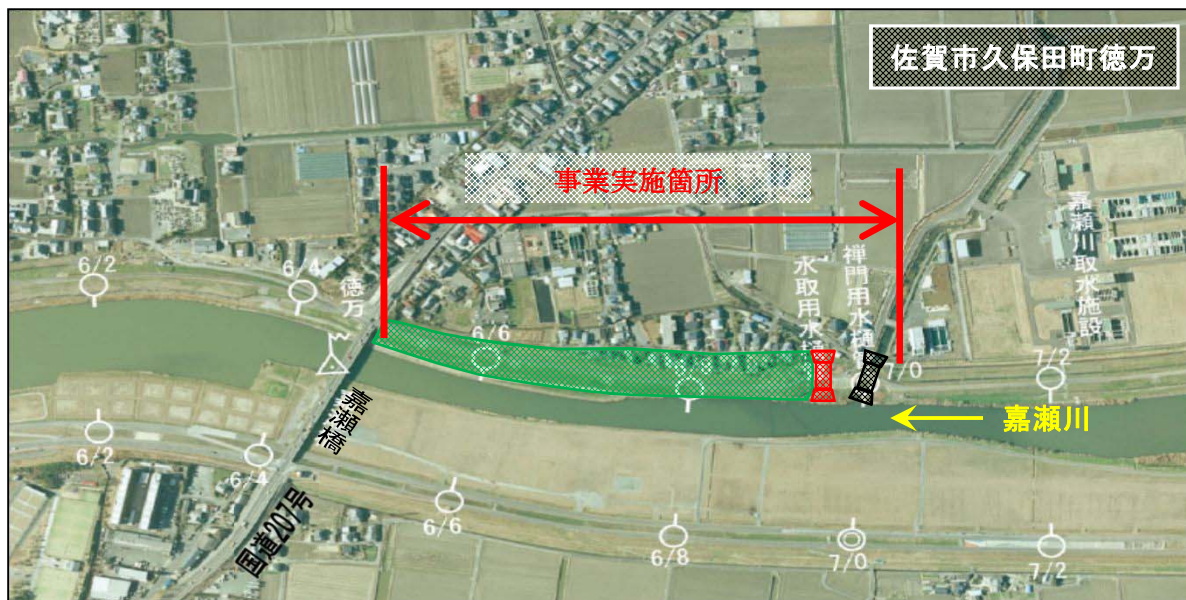
このため、当該箇所において所定の堤防断面を確保し、治水安全度向上を図ります。

事業の概要

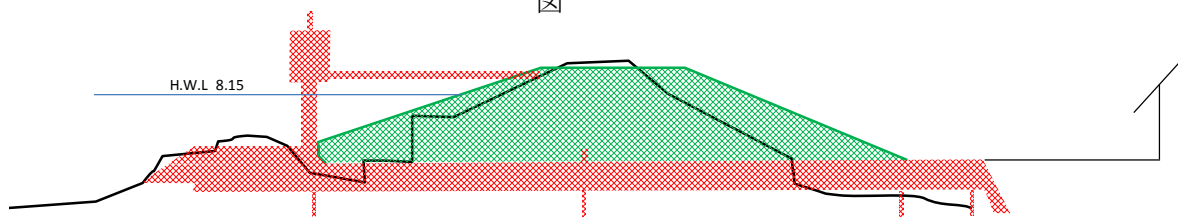
場 所 : 佐賀県佐賀市久保田町徳万地区

予 定 工 期 : 平成30年度～平成31年度

平成30年度
実 施 内 容 : 堤防拡幅にともなう樋管改築（1基）を実施



標準横断面図



嘉瀬川水系嘉瀬川 尼寺地区 河川改修事業

～ 堤防整備による治水安全度の向上 ～

事業の目的

嘉瀬川上流部の佐賀市尼寺地区は無堤地区であり、平成22年7月出水時には浸水被害が発生している。また、想定氾濫区域内に人口・資産が集中する佐賀市中心市街部を抱えている。

そのため、災害時には甚大な被害が懸念されることから、無堤箇所の築堤を行い、流下能力向上を図るものである。

事業の概要

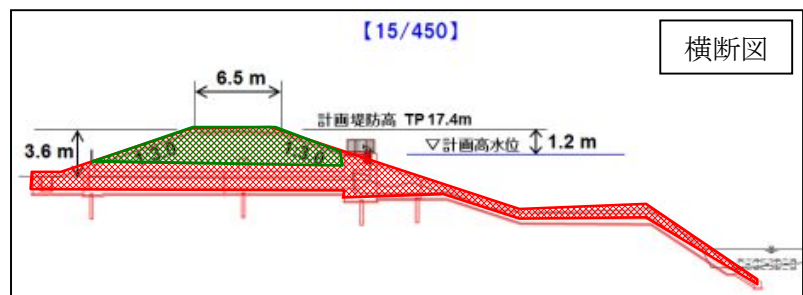
場 所 : 佐賀市大和町尼寺地区

予 定 工 期 : 平成30年度～平成31年度

平成30年度
実 施 内 容 : 樋管新設（1基）を実施



H22.7.14 浸水被害



ろっかくがわ ろっかくがわ ふくどみちく
六角川水系六角川 福富地区 河川改修事業
～ 高潮堤防整備による治水安全度の向上 ～

事業の目的

昭和60年の高潮被害を契機に、六角川河口部の高潮堤防は一連概成しましたが、本地区は老朽化した樋管が存在することから暫定整備となっており、高潮に対して安全度が低い状態でした。

このため、樋管の改築及び高潮堤防整備を実施することにより、高潮堤防として一連の効果を発揮させ、治水安全度の向上を図ります。

事業の概要

場 所 : 佐賀県杵島郡白石町福富地区

予 定 工 期 : 平成27年度～平成30年度

平成30年度
実 施 内 容 : 樋管改築（1基）を継続、高潮堤防整備を実施

旧芦刈町の越波状況
(S60年台風13号)



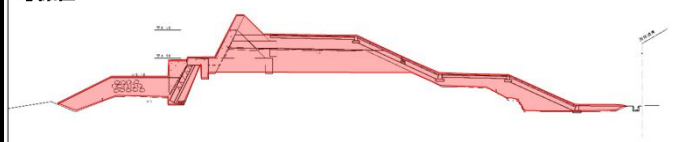
高さ不足箇所(上流側より望む)



暫定措置として鋼製パラペットを設置



横断面



ろっかくがわ ろっかくがわ い お う じ ち く
六角川水系六角川 医王寺地区 河川改修事業
～ 堤防補強による治水安全度の向上 ～

事業の目的

平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会再構築ビジョン」の取り組みの一環として、決壊までの時間を少しでも引き延ばすように緊急的に堤防構造を工夫する「危機管理型ハード対策」として、堤防法尻の補強を実施し、早期に被害軽減を図ります。

事業の概要

場 所 : 佐賀県武雄市北方町医王寺地区

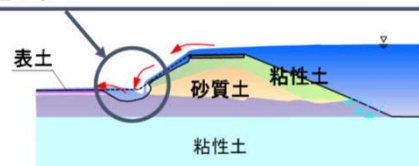
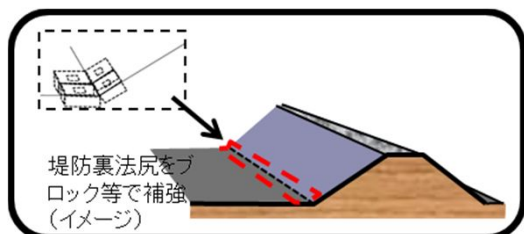
予 定 工 期 : 平成30年度

平成30年度
実 施 内 容 : 堤防裏法尻補強



堤防裏法尻の補強

裏法尻をブロック等で補強し、越水した場合には深掘れの進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



まつうらがわ とくすえがわ かりゅうちく
松浦川水系 徳須恵川下流地区 河川改修事業
～ 樋管改築による治水安全度の向上 ～

事業の目的

松浦川流域は、洪水に対する安全度が低く、平成2年7月出水、平成18年9月出水により、度々洪水被害を被っています。
このため、当該箇所において築堤を実施することにより、治水安全度の向上を図ります。

事業の概要

場 所 : 佐賀県唐津市石志地区^{からつしいし}

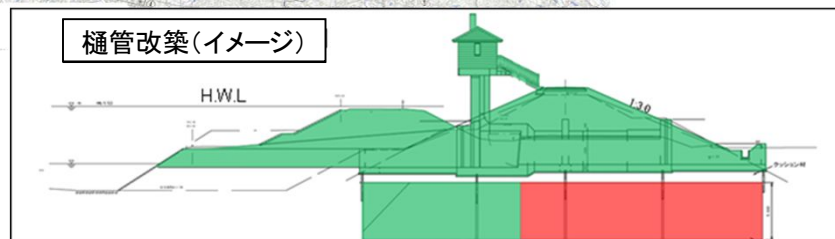
予 定 工 期 : 平成30年度

平成30年度
実 施 内 容 : 樋管改築を実施

○出水時被害状況(H18.9出水)



樋管改築(イメージ)



河川の維持管理事業

事業の目的

武雄河川事務所では、嘉瀬川、六角川、松浦川の3水系を管轄し、その堤防延長は約270km、樋管・水門・堰・排水機場等河川管理施設約270施設を管理しており、治水、利水、環境を目的として、河道、堤防、施設、流水、空間の管理を実施します。

事業の概要

- ①河道管理：土砂堆積や深掘れ、樹木繁茂などの河川の変化を把握し、治水能力が低下しないように河道を管理します。
- ②堤防管理：堤防は古くから築造され、質・強度ともに不均一のため、定期的に巡視や点検を行い、異常の早期発見に努めます。
- ③施設管理：洪水時に堰、水門、排水機場等の操作を実施するとともに、定期的な点検や補修を行い、確実に機能発揮できるよう施設を管理します。
- ④流水管理：安全で安定した水利用と環境を維持するため、河川流量や水質を監視します。また、河川にオイル等が流出した場合は、関係機関と連携し、速やかに回収します。
- ⑤空間管理：地域住民が安全・快適に利用できるように定期的に巡視し、状態監視を行います。また、環境維持のためゴミ拾いや外来種の駆除等を地域住民と連携して行います。

①河道管理



②堤防管理



③施設管理



⑤空間管理



④流水管理



六角川水系河川維持修繕事業

事業の目的

六角川水系のテレメータ設備（監視装置、水位観測装置）の老朽化に伴い、監視装置及び観測装置の更新を行う。

事業の概要

平成30年度実施分

水系名	主な河川工作物関連応急対策事業の内容
六角川水系	①六角川河口堰操作所テレメータ監視装置の更新 ②住ノ江水位観測装置の更新

代表的な実施内容

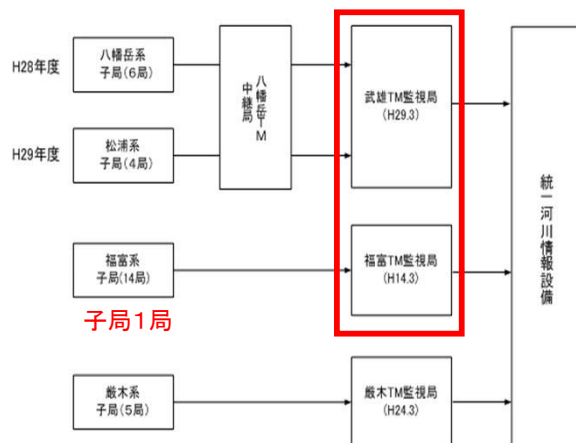


住ノ江水位観測所

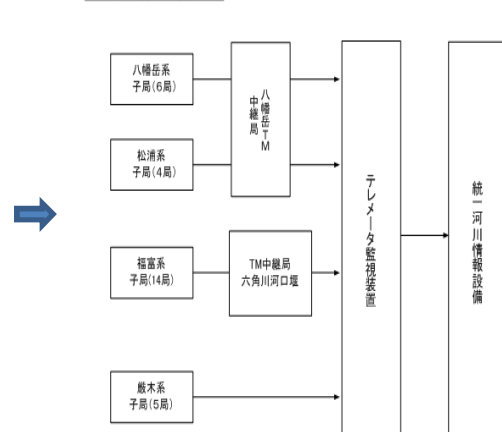


テレメータ監視装置

システム構成(H30年度)



システム構成(最終形)



松浦川水系河川維持修繕事業

事業の目的

堤防や排水機場、堰、水門、樋管などの河川管理施設が洪水時に十分な機能が發揮されるよう、河川巡視や施設点検等により発見された不具合や損傷箇所の補修・更新等を行っていく。

事業の概要

平成30年度実施分

水系名	主な河川工作物関連応急対策事業の内容
松浦川水系	●松浦大堰ゲート設備修繕 一式（塗装塗替・水密ゴム取替）

代表的な実施内容

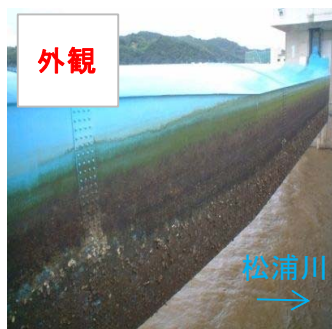
松浦大堰施設全景



ゲート設



修繕前



外観

内部



修繕後イメージ

外観



内部



六角川水系河川工作物関連応急対策事業

事業の目的

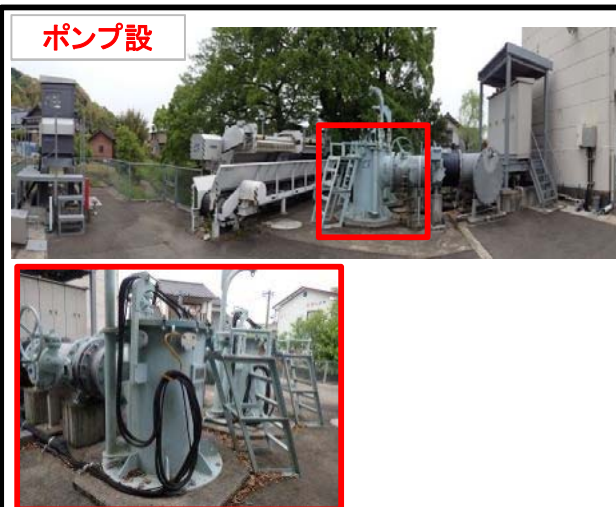
本事業は、耐用年数が超過している河川構造物（樋管、水門、排水機場）機械設備の機器分解整備及び更新を実施し、機械設備の機能向上を図ります。

事業の概要

平成30年度実施分

水系名	主な河川工作物関連応急対策事業の内容
六角川水系	●鳴瀬排水機場 ポンプ設備修繕 一式（ポンプ部品のSUS化等）

代表的な実施内容



修繕前



修繕後イメージ



松浦川水系河川工作物関連応急対策事業

事業の目的

本事業は、空洞化等の変状が生じている河川構造物（樋管周辺）の再構築を実施します。

事業の概要

平成30年度実施分

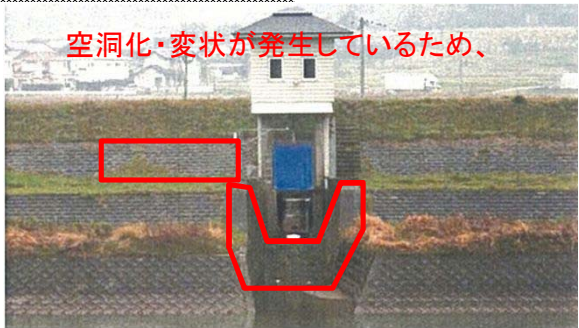
水系名	主な河川工作物関連応急対策事業の内容
松浦川水系	●石志5号排水樋管修繕工事（川表側取付水路部、平張ブロック部の変状・空洞化対策）

代表的な実施内容

石志5号排水樋管全景



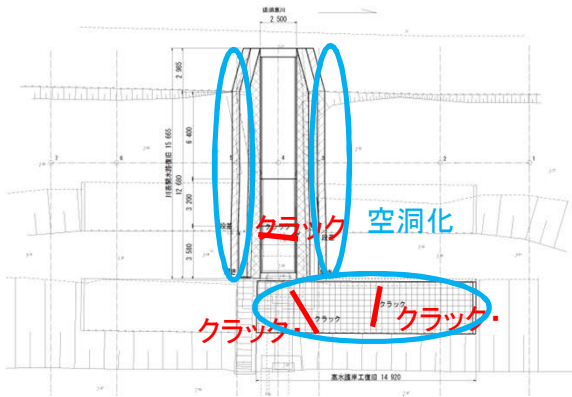
補修イメージ



空洞化状況



構造図



まつらがわ まつら かわ かこうぶ
松浦川水系松浦川 河口部地区 総合水系環境整備事業

事業の目的

松浦川河口部は、唐津城や虹ノ松原周辺を”水辺の回廊ゾーン”と位置付け、「水辺を身近に感じる空間として、市民の暮らしやまちに潤いをもたらす役割」が求められている。

当該区間周辺は、地域住民や観光客にゆとりと潤いを与える“松浦河畔緑地”として遊歩道や緑地が整備されており、多くの家族連れや観光客が訪れる場所であるが、整備予定箇所は川沿いに家屋などが建ち並び川沿いの通路もなく水辺に近づきにくい状態となっている。

唐津市が「かわまちづくり支援制度」に申請し、平成27年3月に登録されたことなどを踏まえ、国土交通省において河川利用上の利便性や水辺に近づく際の安全性を確保するための管理用通路、護岸等の整備を実施します。

事業の概要

場 所 : 佐賀県唐津市河口部地区

予 定 工 期 : 平成27年度～

平成30年度
 実 施 内 容 : 管理用通路、護岸工



厳木ダム・嘉瀬川ダムの運用・維持・管理を適切に行います

厳木ダム

◆事業の概要

厳木ダムは、洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水、工業用水の補給及び発電を目的とする多目的ダムです。

◆事業の目的

①洪水調節

(ダム地点の計画高水流量 660m³/sの内、520m³/sの調節を行う。当面は、下流の流下能力に合わせて調節する)

②流水の正常な機能の維持(下流河川の流水の正常な機能の維持を図る)

③水道用水(唐津市、多久市に対して、1日最大 32,000m³の取水を可能にする)

④工業用水(唐津市の工業用水として、1日最大 10,000m³の取水を可能とする)

⑤発電(天山揚水式発電所(九州電力株)において、最大出力60万KWの発電を行う)

◆平成30年度の予定

管理設備の点検整備、水文観測、フォローアップ調査(河川水辺の国勢調査等)、流木処理等



嘉瀬川ダム

◆事業の概要

嘉瀬川ダムは、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水や都市用水の補給及び発電を目的とする多目的ダムです。

◆事業の目的

①洪水調節

(ダム地点の計画高水流量 2,200m³/sの内、1,370m³/sの調節を行う。当面は、下流の流下能力に合わせて調節する)

②流水の正常な機能の維持(下流河川の流水の正常な機能の維持と増進を図る)

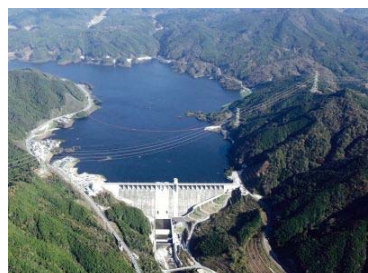
③かんがい用水(国営筑後川下流土地改良事業(佐賀西部地区:4市3町)に対し、最大8.84m³/sの用水を補給する)

④都市用水(佐賀市に対し、1日最大2,000m³(最大 0.023m³/s)の水道用水の取水を可能とする。また、王子マテリア株に対し、1日最大 3,000m³の工業用水の取水を可能とする)

⑤発電(嘉瀬川発電所(九州電力株)において、最大出力 2,800kwの発電を行う)

◆平成30年度の予定

管理設備の点検整備、水文観測、フォローアップ調査(河川水辺の国勢調査等)、流木処理等



城原川ダムの建設事業に着手します

◆事業の概要

- 1) 概要：城原川の日出来橋地点において、河川整備基本方針に対応した流量690m³/sのうち360m³/sの流量低減を図ります。
- 2) 河川名：筑後川水系城原川
- 3) 諸元：集水面積42.5km²
洪水調節容量約350万m³

◆事業の目的

洪水調節

◆平成30年度の予定

本体関連の調査・設計、付替道路設計等

■城原川流域図



■空から見た城原川ダム予定地



佐賀導水路の運用・維持・管理を適切に行います

◆事業の概要

佐賀導水路は、筑後川、城原川及び嘉瀬川を導水路(管路、開水路)で連絡する流況調整河川(総延長：約23km)で、洪水調節、内水排除、流水の正常な機能の維持(河川維持用水・河川水質浄化用水)および水道用水への補給を目的としています。

◆事業の目的

- ・洪水調節(巨勢川調整池は周辺の家屋などの浸水被害及び巨勢川下流部の洪水被害軽減を図る)
- ・内水排除(導水路に設置する8ヶ所のポンプ施設によって洪水時の内水被害軽減を図る)
- ・流水の正常な機能の維持(嘉瀬川及び城原川の流況改善及び佐賀市内の河川への水質浄化用水の補給)
- ・水道用水の確保(佐賀西部地区4市3町1企業団への水道用水の補給)

◆平成30年度の予定

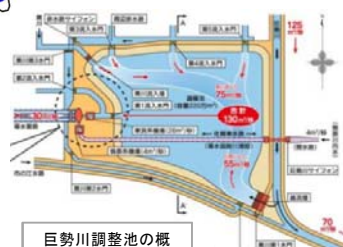
佐賀導水路の施設運用及び管理施設の維持・管理



40年間枯渇していた縫の池



湧水が復活した縫の池



巨勢川調整池の概

